

令和6年度 長崎市立西浦上中学校 学力向上プランブランドデザイン

保護者との連携・協働

- ・西中まるわかりガイドによる学校把握
- ・西中ノートやテスト振り返りのチェック
- ・三者面談や教育相談の充実

【学校教育目標】

心豊かで心身ともにたくましく
主体的に行動できる生徒の育成

地域との連携・協働

- ・地域行事への積極的参加
- ・地域人材の活用
- ・地域への積極的な情報発信

学校の取組

育成を目指す資質・能力

生きて働く
知識・技能

何を理解しているか
何ができるか

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力

理解していること
できることをどう使うか

【研究主題】

個に応じた教育実践をととした確かな学力と豊かな心を兼ね備えた生徒の育成

西浦上中学校の職員は…

「進んで生徒を理解し、長所を伸ばす指導」

に努めます。

西浦上中学校の職員は…

「課題とまとめを明確にした学習指導」

に努めます。



西浦上中学校の職員は…

「落ち着いた教室や学校環境の整備」

に努めます。

西浦上中学校の職員は…

「タブレットを活用した授業の推進」

に努めます。

1 学習規律…「西浦上中学びのルール」

- 一 学習準備は授業前、机の左上に
- 二 3分前着席、1分前学習
- 三 あいさつは心を込めて、しっかりと！
- 四 指名されたらまず返事！
- 五 発表は大きな声ではっきりと！
- 六 大事なことはメモをとって！
- 七 聞くときは、作業をやめて、体ごと。相手の目を見て、うなずこう！

2 学習習慣の確立…1日1P以上の自主学習

- … 自ら知りたいことや課題を定め、解決する方法を考え、取り組む学習
- … 朝学習や長期休業中のタブレットを使った学習

4 心の教育…「特別な教科道徳を中心とした教育」

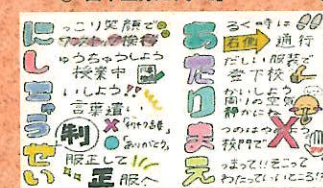
…特別な教科道徳を中心とした教育活動全体で取り組む道徳性の養成

3 生活習慣の確立…

①「西中パーフェクトチャレンジ」

- 一 きれいにそろった下足並べ
- 二 自主学習ノートの全員提出
- 三 時間を守った無言配膳
- 四 3分前着席

②「西中生あたりまえ」



《数値目標》 学力調査の全ての項目で、全国、県、市の平均を超える（+3ポイント以上）

「学校に行くのは楽しいと思いますか」の肯定的な割合を85%以上にする。（生徒質問紙）※今年は81.7%

2023年度 学力・学習状況調査の結果（学力調査は、国、県、市の平均との比較 《±3は表記なし、○は3以上プラス、×は3以上マイナス》）

3年 国語↑（知識・技能、思考・判断・表現） 数学↓（知識・技能×、思考・判断・表現×） 英語↓（知識・技能、思考・判断・表現×）

2年 国語↑（知識・技能○、思考・判断・表現） 数学↓（知識・技能×、思考・判断・表現○）

個に応じた教育実践をととした確かな学力と豊かな心を兼ね備えた生徒の育成

全教科での
共通取組

自分の考えを根拠をもって表現する

学力向上に向けた各教科のアプローチ

国語科

- ・単元ごとに語句の意味を調べさせ、語彙力の向上を図る。
- ・授業中、ペア活動や班活動を取り入れ、主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。
- ・単元末に、自分の考えをノートに記録させ書くことに対する抵抗感をなくす。

社会科

- ・前時の内容の確認テスト、小単元テストを活用し、知識の確実な定着を図るとともに、その中に時折グラフ、資料を読み取る問題を挟み、思考力および表現力の向上を目指す。

数学科

- ・キュービナ・プリント等で、前時または本時の復習を行い、学習内容の定着を図る。
- ・発表や発言において、根拠を明確にしながら、説明できるようにする。

理科

- ・実験、観察を通して、結果を体感することで生きた知識を得る機会を増やす。その結果をもとに話し合いや演習に取り組ませることで思考を深める場面、考えたことを文章で表現する機会を多く設ける。

美術科

- ・自己の主題や表現意図をもとに材料や用具などを選択し、表現活動に生かすことができるようにする。
- ・マインドマップを活用して思考の過程を記録し、表現方法の選択などをまとめ、対話的学習に活用する。

音楽科

- ・生徒一人一人の感性を大切に、表現するためのメソッドを分かりやすい言葉で伝える。また、楽譜に書かれていることをアナライズすることで、作曲家の意図をくみ取り、音楽づくりの楽しさや奥深さを体感させる。

保健体育科

- ・個人活動・班活動において、習熟度にあわせた班編成や教え合いができる班編成を種目に応じて組み合わせる。

技術・家庭科

- ・小学校の内容と関連付けながら、系統的な学習を行い、生活と技術について基礎的な理解・技能の定着を図る。
- ・知識・技能を生かした実践的・体験的活動を行い、実生活や社会の新たな課題を発見・改善する力を育み、達成感を味わわせる。

英語科

- ・単元統合活動を通して、自分の考えや気持ちを接続詞等を用いて、根拠を示しながら話したり、書いたりすることができる力を育む。